

今週（9月17日から9月20日）の短期金融市場動向

●インターバンク市場

今週の無担保コールO/N物は、0.225～0.227%での出会いが中心となり、レート水準は前週対比で若干低下して推移した。地域金融強化のための特別当座預金制度の適用が一部終了したことで、地銀勢の資金調達ニーズが減退したため、ビットサイドのレート水準が若干低下する展開となった。

無担保コールO/N物の加重平均レートは、試し取りが行われた影響もあり、17日(火)から19日(木)までは、0.227～0.228%で推移した。20日(金)は、週末となり通常の取引のみとなったことから、若干低下が見込まれる。出来高は、週を通して3兆円台前半で推移し、全般的に落ち着いたマーケットとなった。

ターム物は1W～3Mの期間で0.27～0.35%程度のお合いが散見された。

日銀当座預金残高は、542兆円程度でスタートし、19日(木)に国債買入オペ要因や財政資金の支払いを受けて544兆円台にまで増加した。翌20日(金)には国債の大量償還・利払い要因により、549兆円程度まで一段と増加しての着地見込みとなった。

また、19日(木)から20日(金)にかけて開催された日銀金融政策決定会合では、現状維持が決定された。

●レボ市場

今週のGC O/N物は、0.21～0.26%で推移する展開となった。オファーが薄くなったタイミングで、一時的にレートが低下する局面も見られたが、全般的には0.23～0.25%程度を中心に小甘い推移となった。

SC取引の個別銘柄では、2Y454～464回、5Y165～172回、10Y351～370回、20Y180～189回、30Y65～83回、40Y10～17回などで引合いが多く見られた。

●短国市場

今週の短国市場は、全ゾーンで概ね横ばい圏での推移となった。

18日(水)に実施された1Y物入札は、平均利回りが強く、テールがやや流れる結果となったものの、結果発表後のセカンダリーマーケットでは堅調に推移した。19日(木)に実施された3M物入札も、強い結果となったものの、結果発表後のセカンダリーマーケットでは閑散で、特段のお合いは見られなかった。

●CP市場

今週のCP市場は、電気・ガス、鉄鋼、小売などの業態で大型発行が見られた。

市場残高について、9月第1週目には25兆円台を回復していたものの、19日(木)時点では24兆円台前半での推移となっている。

発行レートは、政策金利の引き上げ以降、0.25%以上で推移している。また、ロングターム物については、引き続き投資家の運用目線にばらつきが見られた。

●短期金融市場関連指標

	日経平均（円）	新発10年物 国債利回り（%）	為替 （ドル/円中心相場）	無担保コールO/N （加重平均・%）	東京レボレート(翌日 物・T+1スタート・%)	日銀当座預金残高 （億円）
9/16（月）						
9/17（火）	36,203.22	0.825	140.70	0.228	0.245	5,421,900
9/18（水）	36,380.17	0.820	141.58	0.228	0.239	5,421,300
9/19（木）	37,155.33	0.850	143.54	0.227	0.234	5,441,000
9/20（金）	37,723.91	0.860	142.64	0.226	0.235	5,479,900

来週（9月24日から9月27日）の短期金融市場動向

●経済カレンダー

	国内主要経済指標	国債等入札予定			海外主要経済指標
9/23 (月)	振替休日				
9/24 (火)		流動性供給 5,000億円 9/25発行			7月のS&P/ケース・シラー住宅価格指数 9月の米CB消費者信頼感指数
9/25 (水)	8月の企業向けサービス価格指数(日銀 8:50)				8月の米新築一戸建て販売件数
9/26 (木)	金融政策決定会合議事要旨(7月30・31日分 8:50)	40Y 7,000億円 9/27発行			4-6月期の米GDP確報値 8月の米耐久財新規受注
9/27 (金)	9月の都区部消費者物価指数(CPI 総務省 8:30) 7月の景気動向指数改訂状況(内閣府 14:00)	TB3M 46,000億円 9/30発行			8月の米個人所得・消費支出(PCE)

●資金需給予想

単位：億円	銀行券要因	財政等要因	資金過不足	オペ種類	期日分	新規実行分	オペ合計	実質過不足	需給要因
9/23 (月)	振替休日								
9/24 (火)	0	7,900	7,900	国債補充	19,400		19,400	27,300	TB3M発行▲46,000償還55,000
9/25 (水)	1,000	▲ 5,000	▲ 4,000				0	▲ 4,000	流動性供給▲5,000
9/26 (木)	▲ 500	▲ 1,000	▲ 1,500				0	▲ 1,500	
9/27 (金)	▲ 500	▲ 18,000	▲ 18,500				0	▲ 18,500	財政投融资資金の回収 40Y発行▲7,000
週 間 合 計	0	▲ 16,100	▲ 16,100	—	19,400	0	19,400	3,300	

9/24は日銀予想、9/25以降は当社予想

●短期金融市場の見通し

無担保コールO/N物は、引き続き資金調達ニーズの底堅い展開が見込まれる事から、レート水準についても大きな変化はなく、0.227%近辺での推移が予想される。債券レポGC T/N物のレート水準は、参加者のスタンスに大きな変化がなければ、0.20～0.26%程度の水準で推移することが予想される。短国市場は、27日(金)に3M物の入札実施が予定されている。CP市場は、25日(水)にCP等買入オペが4,000億円で予定されており、結果が注目される。

主要なイベントは、国内では26日(木)に金融政策決定会合議事要旨(7月30・31日分)、27日(金)に9月の都区部消費者物価指数、海外では、25日(水)に8月の米新築一戸建て販売件数、26日(木)に4-6月期の米GDP確報値、27日(金)に8月の米個人所得・消費支出(PCE)などが予定されている。

- ◆本資料は信頼できるとされる各種データに基づいて作成されておりますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
- ◆本資料は何らかの取引を誘引することを目的としたものではありません。売買に関する最終判断はお客様ご自身でなされますようお願い申し上げます。
- ◆金融商品のお取引には価格変動等によるリスクがあります。金融商品のお取引には手数料等をご負担頂くものがあります。金融商品取引法に基づきお渡しする書面や目論見書をよくお読みください。

セントラル短資株式会社 登録金融機関関東財務局長（登金）第526号 日本証券業協会加入